



お宝ビデオをみる会 12月5日(水)10:00~12:00 参加者4人

ろう者の寸劇で学ぶ「聴覚障害者のためのメンタルヘルス」～青空が見える 闇の向こうに～の DVD を見ました。腕の立つ技師のろう者が職場での孤独感に苛まれ、次第にお酒におぼれていく。ソーシャルワーカーの支援で元を取り戻していく劇でした。知人の体験談や支援団体などの学習をしました。(鈴木)

字幕ボランティア研修会 12月6日(木)13:00~16:00 参加者3人

今回は難聴者2人の参加がありました。悪天候のため参加者が少なかったです。まず講師の流郷勝士さんの宮島での字幕付き映像を観賞して感想を話しました。その後、長崎のソフト制作研修の報告をしました。後半は制作室にて講師の指導で字幕入れの作業を最初の段階からしました。手間のかかる作業ですが、みなさま気軽に参加してください。(石岡)



難聴者向け手話教室 12月1日・8日・22日(土)10:00~12:00 参加者のべ22人

講師の鶴田さんの指導で、4回目は「天気(曇り・雪・風など)」「時限(昨日・今日・明日など)」「だれ?何?」の手話を覚えました。5回目は復習を、6回目は交流会をしました。手がスムーズに動くようになり質問が飛び交い、活気ある会になりました。ある参加者は、旅先の駅でろう者に会い思い切ってあいさつしたら、話しができたと喜んでいました。声をかける勇気が持てたのはみんなと一緒に学んだおかげですね。(鈴木)

音楽教室 12月1・2・6・9・13日 参加者のべ19人

親子コースと SAX コースが新たに始まりました。親子コースではお子さんの様子を見ながらお母さんとおしゃべりしたり、クリスマスの歌を一緒に歌ったりしました。SAX コースは音楽好きの難聴者5人が四苦八苦しながら熱心に学んでいます。いつか披露できるといいですね。(鈴木)

ミニ手話教室 毎週火・水曜日12:30~12:50 参加者(7月~12月)のべ108人

7月から情報スペースでミニ手話教室をしています。目的は①健康福祉センターの利用者が集える場を提供する②手話の普及と手話を使いやすい環境整備を推進する③手話でのコミュニケーションを習得することによりお互いの理解を深める④災害時などで協働できる信頼関係を作ることです。健康福祉センターの職員さんや介護などの研修で来訪された方を中心に、来所されたろう者やセンター職員と一緒に楽しく手話を学んでいます。昼休みの20分間というわずかな時間ですが、これまで45回開き、のべ108人の方が参加しました。簡単なあいさつや天気、家族の話などごく普通の会話ですが、スタンプカードを貯める楽しみもあり自然に手が動くようになってきました。これからも継続して開催していきたいと思えます。お時間のある方はぜひご参加ください。(鈴木)

手話通訳者特別研修会 12月9日(日)10:00~16:00 参加者28人

本年度第7回目の手話通訳者特別研修会が12月9日に福山で開かれました。講師は陶山文子さんと中本智子さんでした。午前「読み取り通訳学習」、午後「表現の工夫」、手話通訳士倫理綱領に照らし合わせて「実践技術」を学びました。ユーモア溢れる講義でした。通訳者としてのありようを改めて学んだ研修会でした。(神田)

